Kyoto Hollywood News
京都ハリウッド通信

ルーツかトドメか、「武蔵」映像の定版！
東映「宮本武蔵」5部作ついにDVD化！

©東映

モーニング連載「バカボンド」（講談社）が累計3000万部を突破、NHK大河ドラマ「武蔵」が高視聴率を記録するなど、世は武蔵ブーム。武蔵文学の金字塔・吉川英治原作の宮本武蔵は、戦前より現在放映中のNHK大河ドラマを含めて数多く映像化されているが、その中でも決定版と言われているのが東映京都が61年から65年に渡り製作した映画「宮本武蔵」シリーズである。

巨匠・内田吐夢監督が時代劇の大スター・萬屋錦之助（当時・中村錦之助）を主演に、年1本のペースで製作。武蔵と共に俳優・萬屋錦之助の成長を、時代劇王国の東映京都撮影所が総力を結集し重厚に描いた。この、まさしく大河ロマンと呼ぶに相応しい名作が一挙DVD化、東映ビデオより発売中だ。

第1作「宮本武蔵」は関ヶ原合戦の敗走から白鷺城天守閣幽閉まで、暴れん坊時代の武蔵を描く。第2作「般若坂の決斗」は愛するお通を振り切って剣の旅に出た武蔵が京の吉岡道場を破り、奈良宝蔵院の槍を叩いて、般若坂の決闘に至るまでを描く。第3作「二刀流開眼」は柳生道場から京の吉岡清十郎との決闘、二刀流開眼、宿敵・佐々木小次郎との出会いまでを描く。第4作「一乗寺の決斗」は吉岡清十郎を倒し、その弟・伝七郎をも倒した武蔵と、吉岡一門73人との果たし合いを描く。第5作「巌流島の決斗」は宿敵・佐々木小次郎との巌流島での決闘を描く完結編。これを見ずして武蔵を語るなかれ！

各巻4500円（税抜）。特典はフォトギャラリー予告編、スポニチ芸能ニュース、豪華解説書。東映ビデオより発売中。発売：東映ビデオ

石ノ森章太郎名作ドラマ
一年ぶりに復活
「おみやさん」

「おみやさん」一年ぶりの復活。監督陣は前回好評の和泉聖治、村川透。吉田啓一郎ら実力派が勢揃い

石ノ森章太郎原作「おみやさん」が一年ぶりに復活。毎週木曜日夜8時よりテレビ朝日系で放映中だ。昨年放送した「京都鴨川東署迷宮課・おみやさん」の第2弾で、資料課の関職警察官・通称おみやさん（渡瀬恒彦）がお宮入りの事件を解決するこのシリーズは、明るく楽しくをベースに、単に事件を追うだけではないヒューマンなストーリー展開で視聴者の感動を呼び好評を博した。今回はそうした要素を踏襲しつつ、前回の基本だった時効寸前というキーワードにはこだわらず、事件そのもののサスペンスと人間ドラマに重点を置く。他の出演は櫻井淳子、加勢大周、不破万作、片桐竜次、小野寺丈、一條俊、相本久美子、菅井きん、七瀬なつみ、谷啓ら。

土曜ワイド劇場新シリーズ
「京都の女裁判官7・陥られた不倫疑惑!! 犯人と疑われた美人判事」

女裁判官・松宮亜紀子（若村麻由美）は殺人犯と疑われる。トミーズ雅が京都府警の刑事・石塚修を好演。

とまぁ長いタイトルの土曜ワイド劇場で京都を舞台にした新シリーズが、朝日放送で5月17日夜9時より放映の「京都の女裁判官7」。原作は「赤かぶ検事」の和久俊三。出演は若村麻由美、トミーズ雅、長谷川初範、伊吹吾郎、佐川満男、芦屋雁之助ら。京都地方裁判所の裁判官・松宮亜紀子（若村麻由美）は彼女の年齢からは異例の統括判事を務める法曹界のエリートで、マスコミはギリシャ神話で正義を司る女神テミスになぞらえて「平成のテミス」と呼び、亜紀子を芸能人のように取り上げる。亜紀子は夫・忠則（長谷川初範）の不倫を知り離婚を決意。だが、忠則は離婚に同意せず、更に亜紀子を窮地に追い込む凶悪事件が発生。亜希子は犯人と疑われる。京都の名所を背景にトミーズ雅がドラマ出演を伸び伸びと楽しみ、若村麻由美との息もピッタリ。京都を舞台に新コンビのこれからの活躍が楽しみだ。

法で裁けぬ悪に天罰を！
片平なぎさ
「天罰屋くれない・闇の始末帖」

ズラリ揃った天罰人の面々。左より上原さくら、渡辺広之、古谷一行、片平なぎさ、高知東生、白川裕二郎

2時間ドラマの女王・片平なぎさが挑む時代劇の新シリーズが現在テレビ朝日系で放映中の「天罰屋くれない・闇の始末帖」（毎週月曜夜7時放映）だ。法で裁けぬ悪を始末する天罰屋の活躍を描く。松坂紅（片平なぎさ）の表の顔はリストラ浪人の夫（嶋田久作）を支える良妻賢母。だが裏の顔は悪に天罰を与える二刀流の女刺客。その他のメンバーは剣の遣い手・影之介（渡辺裕之）、自ら考案した武器やからくりを駆使する、からくり竜次（高知東生）、中国武術の達人・沈黙の壱松（白川裕二郎）、竜次の妹で元締と天罰人のつなぎ役・お亜季（上原さくら）、元締・恵比寿屋文三（古谷一行）ら。法で裁けぬ悪に天罰をという現代人の願望を反映した、非・勧善懲悪の設定と人情、そして時代劇ファンを唸らせる殺陣。まさに時代劇の王道を行く新シリーズの登場だ。

今月の言葉

昨年からせっつかれているVシネの企画書がダダ遅れ。未だに一行はおろか一文字も書けていない状態。構想は多数あるものの、予算の枠内に収めるために四苦八苦しているのが現状。少ない予算と日数の中で、いかに効率良く撮影を進め、尚且つ面白い作品にするかという課題はなかなかの難題。夏には公開・発売予定なので、このままでは撮影がモロ梅雨時に重なる気配。撮影に雨は大敵。少ない予算と日数の現場に雨はまさしく死活問題。

２００３年５月１日　山田誠二

責任編集人
山田誠二
1963年生まれ。京都を拠点に、映画のプロデュース、脚本、評論の他、コミック原作など多方面で活躍の作家。映画関連著作多数執筆。

トピックス

香取慎吾が近藤勇役に挑戦！

京都と言えば新選組。これまでテレビや映画で数々の新選組ものが製作されてきたが、NHKの「武蔵」に続く来年の大河ドラマが「新選組！」に決定。主人公の近藤勇を演じるのは、なんとSMAPの香取慎吾。その他の出演は沖田総司役に藤原竜也、土方歳三役に山本耕史、芹沢鴨役に佐藤浩市ら。脚本を担当するのは三谷幸喜。

流れ橋で時代劇祭り

京都府八幡市では去る4月19日、時代劇祭りを開催した。参加者は時代劇の登場人物に扮装して、同市を流れる木津川にかかる、時代劇のロケ地としても有名な流れ橋から石田神社、四季彩館を練り歩いた。扮装の着付けを担当したのは東映京都撮影所の衣装部で、参加者は参加費3万円を支払って水戸黄門や子連れ狼、柳生十兵衛らに扮装した。人気キャラクターは希望者も多いため複数を用意して対応。東映の殺陣のメンバーが演舞も披露。今回が初の催しで、同市は今後も開催の意向。

超カルト「吸血鬼ゴケミドロ」DVD化

日本映画カルトの中のカルトと言われる「吸血鬼ゴケミドロ」がDVD化される。「ゴケミドロ」は松竹京都製作のSF怪奇娯楽の傑作。アメーバ状の知的宇宙生物「ゴケミドロ」が円盤で地球に襲来、人間に乗り移り吸血鬼に変貌させる。人間の頭を真っ二つに割いて、その傷口からゴケミドロが侵入する場面は強烈で、かのタランティーノも多大な影響を受けたと言われている。定価3800円（税抜）。松竹ホームビデオより発売。